

市民の願いは実現できます

税金の使い方を 変えれば

子どもの数が少ない理由は、子育てや教育にお金がかかりすぎるから。昨年の川崎市のアンケートで第一位。支援策の充実には待ったなしです。二〇〇四年十二月議会で日本共産党は、大規模事業への税金ムダづかいをやめ、市民の切実な願いにこたえるよう阿部市長に強く求めました。

就学前までの 医療費無料化は

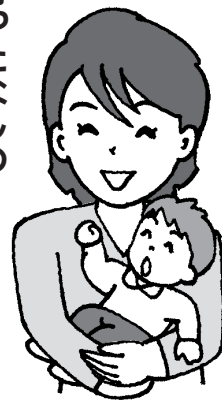
あと
2億円

市民の願いと市議会での要求が実現し、今年一月から小児医療費助成が五歳児まで引き上げられました。さらに小学校入学前まで拡充するには、あと約一億円（所得制限ありの場合）と答えました。

市民の願いと市議会での要求が実現し、今年一月から小児医療費助成が五歳児まで引き上げられました。さらに小学校入学前まで拡充するには、あと約一億円（所得制限ありの場合）と答えました。

保育園に申し込んでも入れない待機児が二六六〇人（04年10月時点）も。日本共産党が、認可保育園の新増設を急ぐよう求めたのに対し、健康福祉局長は「具体的な検討」を表明。また小児科医師の確保と中部地域への小児急病センターの整備を要求。私立幼稚園の保育料補助の増額を求め、教育長は「検討していく」と答えました。

待ったなしの
子育て支援策



小学1年生の 35人以下学級の 全校実施は

あと
1億円

全校実施は

長年の市民運動が力になり、ようやく今年度から十一校で実施された小学一年生の三五人学級。あと約一億円あれば、全校実施にひろげられます。教育長も、「初めて学校生活を迎える時期の子どもたちに、少人数指導や少人数学級などによる、きめ細かな分かりやすい指導を行なうことはたいへん大切なもの」（十一月議会答弁）と

認めています。市は全校実施を三カ年でおこなう計画です。日本共産党が、来年度から全校実施にふみだすべきと求めたのに対し、教育長は「検討したい」と答えました。



市が3.6億円で買ったKCTの門型クレーン。こんな税金ムダづかいをやめれば...



破産したKCT（川崎港コンテナターミナル）に 市の負担 16億円も

『財政危機』といながら...

「船の来ない港」といわれたKCT（川崎港コンテナターミナル）。市費約三百億円を投入しながら、六九億円もの負債をかかえて昨年破産が確定しました。十二月議会では、川崎市が脱法行為的におこなっていた損失補償九億円を支払う議案に、日本共産党以外の全会派が賛成。

これで、KCTの破産処理にかかわる市の負担は約十六億円に（九億円のほか、出資金三・一億円、門型クレーン八基買い取り三・六億円など）。「財政危機」を理由に、市民には福祉切り捨て・ガマンを押しつけながら、こうした税金の使い方が許せるでしょうか。

さらに...反省なく 新たな大規模事業

川崎臨海部と羽田空港を道路で結び、「神奈川口」ターミナル。阿部市長がいま熱をあげている「神奈川口構想」とは、いすゞ跡地を中心とする大師河原地区と羽田空港側を道路で結び、川崎臨海部に空港ターミナル機能や幹線道路などをつくる計画です。その実現を前提に、あることが、国の事業である新滑走路建設に三百億円もの無利子融資を県・横浜市・川崎市がおこなおうとしています。

日本共産党川崎市議員団



高津区
西村 英二



川崎区
佐野よしあき



高津区
石田 和子



幸区
ちくま幸一



宮前区
石川けんじ



中原区
市古てるみ



多摩区
井口 まみ



中原区
徳竹きよし



多摩区(前市議)
斉藤たかし



幸区(前市議)
西尾りえ子



麻生区(市政対策委員長)
勝又みつえ

福祉・くらし、身近なことから環境・まちづくりまで。ひきつづき、地域のみなさんの声を市政にとどげるために、全力でがんばります。

第162号 2005年1月
日本共産党川崎市議員団
日本共産党川崎市委員会
川崎市川崎区砂子2-8-1-401 ☎211)3731

